



- 1 田山 興誠さんの作品と
作品についての言葉
- 2 代議員会報告
事務局長挨拶
- 3 美に遊ぶ
- 4 美術鑑賞旅行
- 5 会員のためのギャラリートーク
- 6 中川純一氏講演会
2025年度役員・委員及び
特別会員名簿
友の会からのお知らせ
あとがき



田山 興誠 《主客互換》

2022年／35 × 180cm

茶道では主客互換という考え方で茶席に臨む。亭主は客がどのように楽しめるかを考え、客はそのような心配りに感謝する。主は客の身になり客は主の身になり、お互いに気遣いをしていくのが茶道の基本的姿である。

「表千家」佐藤早順先生に習う。書を関南沖先生に師事。没後川又南岳先生、石川楽堂先生に師事。県展では知事賞を、水戸市展では奨励賞を三度受賞。

主客互換は家庭生活をはじめ職場や友人関係とあらゆる生活の中で大切な言葉である。この言葉を選び書いてみた。墨の香りを味わい乍ら墨を磨り、たつぷりと墨をつけ筆の感触を味わい乍ら出来上がった書に落款を押し完成。

プロの書は和室洋室応接間と幅広く飾ることが出来、茶掛け等広く日本人に親しまれている。

昨年東京の鳩居堂で仲間数人と展覧会を開き作品作りに精を出した。今年の秋は京都と東京での書展のために出品三点作りに精を出している。書は奥が深く、余生の時間を楽しんでいる。

一昨年水戸市民会館で行われた第一回声楽コンクールで80歳以上の部で一位。水戸出身のオペラ歌手鈴木義弘先生に師事（昨年没）。上原正敏先生に師事。ゴルフ歴60年。

（水戸市在住）

2025年度 理事会・代議員会報告

2025年5月10日（土）に理事会及び代議員会が開催されました。会に先立ちまして、中川会長、鈴木顧問、金澤副館長の挨拶がありました。

理事会では、2024年度決算と2025年度役員案が承認されました。代議員会では、2024年度経過報告、事業報告、決算報告、監査報告に続いて、2025年度事業計画案と予算案について審議が行われ、いずれも承認されました。

企画委員会では、日帰りと複数の宿泊を伴う国内美術鑑賞旅行、海外美術鑑賞旅行を計画しています。また、絵画講習会や企画展ごとのギャラリートーク、講演会の準備も進めています。会報委員会では例年同様、会報「游美」を年3回発行いたします。PR委員会では、ホームページの随時更新と、近美・五浦両美術館の「友の会コーナー」の更新を行います。新規会員獲得方法についても検討予定です。なお、会則について、設立年月日等を明示し規約として体裁を整える形で改定を行いました。2025年度も、会員の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。なお、役員・委員及び特別会員名簿は6ページに掲載します。



2025年5月10日 美術館会議室での代議員会

前友の会事務局長のご挨拶



前友の会事務局長
沼田 祐一郎

近代美術館には5年間お世話になり、最初の2年間はボランティアを、3年目より友の会事務局を3年間担当させていただきました。

私が事務局長に就任した時は、新型コロナウイルス感染症のために、過去2年間は友の会の行事等が一切実施できない状況でしたが、可能な限りの感染対策を講じながら、活動を順次再開していくことに尽力してまいりました。おかげさまで、ほぼコロナ禍以前の状態まで戻すこ

とができました。

とはいえ、事務局として十分に対応できなかったことも多々あります。事務局長は退任いたしますが、今後は理事として、友の会のよりよい運営に微力ながら関わらせていただければと考えておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

3年間本当にありがとうございました。会員の皆様のご健勝と友の会の益々の発展を祈念しております。

新友の会事務局長のご挨拶



新友の会事務局長
山本 俊之

今年度、友の会事務局を担当することになりました山本と申します。3月までは、図書資料・中村葬アトリエ・アートバスの団体対応など、美術課の一員として仕事をしてきました。

4月より内部異動で友の会の係となりましたが、昨年度お世話になった方が友の会の役員であったり、一部の会員の皆様と面識があったりと、近代美術館が2年目というお陰で少しずつ事務局に慣れてきたなという状況です。

事務局は、友の会という組織の運営を

円滑に進めるために、様々な事務作業や手続きなどを行う訳ですが、大切なのは役員の皆さんの担う役割がスムーズに展開できるようにサポートすることであり、それが会員の皆様の充実した活動につながっていると思っています。

ご縁があって友の会の活動に携わることになりましたので、無理のない範囲で一緒に楽しい活動ができるように取り組んでいければと考えています。今後とも、会員の皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



今、古墳がブームらしいのだが、まさに私も“はまって”いる。きっかけは数年前。車で霞ヶ浦大橋を渡り、左手に霞ヶ浦を見ながら石岡に向かっていたところ、突然右手に大きなピーナッツ形の小高い丘が現れた！まさかこの形は古墳？！驚きつつ、そして半信半疑ながら急いで戻ってみた。目立つ標識もないのだが古墳に間違いはない。周囲や古墳の上の草は刈られていて、前方後円墳としての形状がはっきりわかる。美しい！暫く呆然と見つめながら、古墳はこんなにも美しいものなのかと魅了されてしまった。

古墳の前に立看板をみつけた。それを読むと、その古墳は三昧塚古墳といい、5世紀のもの。そして重要文化財に指定されている王冠、鏡、玉、刀など貴重な宝物が多数出土したとある。5世紀といえば、大阪にある、世界最大の墳墓であり最大の前方後円墳である仁徳天皇陵が造られた時代でもある。中央政権の許可や協力なく最新技術が必要な前方後円墳を造ることは不可能だったはず。つまり、この古墳は中央との強い繋がり存在を物語っている。

申し訳ないと思いながら、古墳の上への階段をあがってみると、眼下には霞ヶ浦、遠方には筑波山を眺めることができる絶景が広がっていた。いつの時代もこのような絶景は人々が望む価値あるものなのだろう。ここに埋葬された人物の生前の力を思わせる。

後で知ったことだが、霞ヶ浦を通る船からは、その高台の古墳もまたよく見えたという。その大きさも含めて地域の豪族の力のアピールでもあったのだという。霞ヶ浦周辺には多数の古墳が存在している。霞ヶ浦を航行する船、あるいはその周辺からの景色は実に壮観で圧巻であったことだろう。

三昧塚古墳に出会ってから数年後のこと。常陽藝文センターで開催された、当時のかすみがうら市歴史博物館館長 千葉隆司先生による茨城県の古墳や古代史のセミナーに参加させていただいた。そこで、茨城県には古墳が5,000基以上あり、近年、卑弥呼の生きた時代である3世紀の古墳も発見されたことも知った。

かつて、霞ヶ浦、北浦周辺の地域は馬の産地であり、その馬はヤマト政権に献上されていたという。三昧塚古墳から出土した王冠にも馬を形取った飾りが多数ついている。装飾された馬具も出土している。古代、馬は貴重で、財力の象徴でもあったらしい。水が豊富で、平らな地が続いている。馬の産地でもあり、万葉集に25首も詠まれている筑波山もある。古代の茨城の地が、相当な豊かさを誇り、中央政権との強固な繋がりをもっていたことが想起され、わくわくしてくる。

さらに、古墳には埴輪がつきもの。茨城県を含めた東日本の埴輪はユニークなものが多いらしい。まだまだ深く深くはまりそうである。

(水戸市在住)



金銅馬形飾付透彫冠／5世紀／12×60cm
茨城県行方市三昧塚古墳出土 重要文化財
茨城県立歴史館蔵



埴輪 両手挙げる女子／6世紀
茨城県水戸市愛宕町出土／高さ73.6cm
東京国立博物館蔵
<https://webarchives.tnm.jp/>



三昧塚古墳／5世紀
全長85m、後円部径47m、前方部幅36.5m、
後円部高さ6m
茨城県行方市沖洲 (筆者撮影)

2025年7月8日（火）、会員42名は郡山市立美術館及び天心記念五浦美術館を訪れ、名品を堪能しました。

二つの美術館を巡って

菌部 早苗



連日30度を超す猛暑の中、夏の美術鑑賞旅行が実施され、郡山市立美術館、天心記念五浦美術館を訪れました。

郡山市立美術館では、皇居三の丸尚蔵館の名宝が来福！

「尚蔵館」とは大切に保管するという意味があり、ここでは皇居に受け継がれた収蔵品を多くの方々に紹介しています。

日本画、洋画、焼き物、彫刻、工芸、ボンボンエール、会津ゆかりの勢津子妃の品々等84点が展示され、皇室が大切に保管し守り伝えた日本の文化にふれられる企画でした。亀井至一の水彩画の画帖は造形を詳細に描き、色の使い方に驚きました。寿ぎのボンボンエールは小さくて精巧な銀細工が素晴らしく、手にとってながめていたい。重要文化財の『蘭陵王置物』は小さいながら鍛造、毛彫高肉象嵌など金工技法を駆使し、お面を外して、顔が拝めるといふ説明を学芸員さんから聞きました。展示のためお面は外せないの、ハンサムな顔は冊子でみました。全体の姿から想像できない程のやさしいお顔です。

三春で福島名物の昼食をいただいた後、天心記念五浦美術館に移動しました。小泉晋弥館長が、外国で評判となった岡倉覚三『茶の本』及びマイケル・



2025年7月8日 郡山美術館 参加会員

バクサンドール『パターンズ・オブ・インテンション』を基に、美術鑑賞の意義を講話してくださいました。絵や作品をみて感じたことを他の人と話し合うことが大事なのではないか。「静かに」とおしゃべりを制止するような美術鑑賞でなくていいと受け取り、『再興第109回院展 茨城五浦展』を鑑賞しました。日本画壇の重鎮や若手の受賞作など60点が展示され、郡山市立美術館と違って日本画だけの展示です。山浦めぐみ、川崎麻史、樋田礼子などの視覚以外を表現に生かした作品が数多くあり、圧倒されます。係員が「記録するなら鉛筆で」と鉛筆を貸してくれたり、「何かわからない事ありますか」など、来館者への気配りを二つの美術館から受け、以前と鑑賞の様子に変化がみられました。時間があればビデオによる作者の作品によせる思いや作品をゆっくり見たかった夏の美術館旅行でした。

（東茨城郡城里町在住）



海野勝珉《蘭陵王置物》
1890年／銅、銀、金、合金、彫金、象嵌
高さ約62×幅50mm／皇居三の丸尚蔵館収蔵



樋田礼子《井の頭（11）―樹下生―》
2024年／紙本・彩色／225×180cm
日本美術院賞（大観賞）、東京都知事賞／個人蔵

《アーツ・アンド・クラフツとデザイン》 ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで (2025年4月19日～6月29日)

ギャラリートークに参加して

関野 秀子

今から18年前、イギリス湖水地方を訪れるツアーの最終日。ロンドンで午前中、自由時間がありました。

私は、ホテルから早足で20分程の、ヴィクトリア＆アルバート博物館の入口で、先頭で開館を待ちました。片言の英語で、「モリスの部屋を見たい」と話し、館内図に印を付けてもらい、「緑の部屋 Morris Room」に直行。グリーンの壁紙が天井近くまで貼られ、薄暗い感じでしたが、体感できたことに満足。歩いてホテルに帰りました。

今回、そのモリス等の作品を地元茨城で見る事が出来る、とても嬉しい機会でした。

5月29日（木）、友の会ギャラリートークに参加。講師の山口さんのお話を展示順に伺いました。著作権が切れているので、モリスの柄を誰でも使える様になり、いろいろな所で使われていることを知りました。ファンにとって幸せなことです。展示の壁紙の中で、私は自分の干支だからか、モノトーンの兄

弟うさぎ（白）が好きです。展示されているイス、座ってみたいなあ。照明器具は点灯したらどんな感じか、見てみたいと思いました。

次は、フランク・ロイド・ライトのステンドグラスのドアが展示されていたマーティン邸を見に、アメリカに行きたいと思っています。

（東茨城郡大洗町在住）



2025年5月29日《アーツ・アンド・クラフツとデザイン》ギャラリートーク参加会員（前列右から3人目 講師の山口和子首席学芸員、後列左から3人目 筆者）

《旅にまつわる絵とせとら》 (2025年7月16日～8月31日)

ギャラリートークに参加して

榎戸 温子

今年3月、三年かけて旧東海道を歩く旅を制覇しました。「旅にまつわる絵とせとら」展のポスターで、旧東海道を歩くきっかけとなった歌川広重の絵を見つけたので参加してみようと思いました。

とても暑い、津波警報が出された7月30日、友の会会員15名が集まりました。講師は茨城県近代美術館主任学芸員の高田紫帆先生です。現代日本画を専門にされており、先生の優しい語り口でわかりやすいお話に、すぐに引き込まれました。

江戸時代の人々も、私たちと同じように広重の絵に誘われて旅に出たそうです。旅のお守り付きの「旅行用心集」を懐に入れて旅に出かけるのが想像できて興味深かったです。

戦後80年を迎えることもあり、「戦争と画家」を今回の企画展の裏テーマとしているということです。が、戦地に赴いた画家が現地の何気ない風景を描いた絵も何点が展示してありました。画家たちがお国のために働きながら、描かずにはいられなかった気持ちが見えました。

茨城にゆかりのある横山大観の「流燈」は、何度か鑑賞する機会がありましたが、大観にとってターニングポイントとなった重要な作品であったことや、美しい「山に因む十題」は、戦時中軍事機を購入する資金捻出のために描かれた絵だったということなど、普段個人で鑑賞しただけではわからないお話をたくさん聞くことができました。楽しい有意義な企画をありがとうございました。

（桜川市在住）



2025年7月30日《旅にまつわる絵とせとら》ギャラリートーク参加会員（前列右から3人目 講師の高田紫帆主任学芸員、前列中央 筆者）

人と食べ物とのつながり

この講演会は、当美術館で7月26日から開催の企画展「グルメ展」とタイアップして開かれた。

日ごろから食に関わっておられる先生。有名レストラン、料亭などでの実体験を交えながらの含蓄あるお話だった。①最初に人類の食べたもの：おそらく骨髄だったのでは。②十字軍：贅沢を覚えてしまった中世ヨーロッパの騎士階級。③ルネッサンスと安土桃山時代はほぼ同時期だが：西洋では貴族階級だけがグルメを味わえたのに対し、日本では庶民でも可能だった。④日本は各国の食文化が混在するユニークな地域。これらについて「美味礼賛」「味覚の生理学」等の著書を紹介しながら、会長独自の見解を付け加えての楽しい

内容だった。

生命の維持には欠かせない食物に対する動物と人間との違い、それは〈えさ〉ではなく、心を込めて料理されたものを食べる〈心を食す満足〉があることだと。〈よき料理はよき人生の友である〉というお話に納得しつつ、日々の食生活を反省させられる時間でした。

（会報委員会 松本）



2025年8月3日 中川純一氏講演会風景
（今瀬課長提供）

2025年5月10日に行われた理事会・代議員会（2ページに記載）を経て承認された役員名簿を掲載します。ご協力いただいている特別会員の方々の名簿も掲載します。

2025年度役員・委員の紹介

役 職	氏 名
顧 問	鈴木 誉志男
会 長	中川 純一
副会長	滝田 賢三 田山 興誠 奥村 雅子
事務局長	山本 俊之
監 事	小林 正和 坂場 英利
理 事	阿部 真也 車 孝則 鈴木 尚 高原 裕
	長嶺 家光 沼田祐一郎 藤田 卓也 山本 俊之
	横須賀正留
代議員	荒川眞理子 菊地 清治 郡司 照子 五嶋 英門
	齋藤 奎二 佐伯 佳子 砂押喜美江 鶴田 信晃
	富永 薫 灰原 啓子 牧 幸代 松本 寛子
	宮田 幸江 柳生 順子 山田 一二 山本美喜男
	渡辺 清美
企画委員会 委員長	滝田 賢三
委 員	鈴木 尚 佐伯 佳子 富永 薫 牧 幸代
	宮田 幸江
会報委員会 委員長	奥村 雅子
委 員	荒川眞理子 灰原 啓子 松本 寛子 柳生 順子
	山田 一二
PR委員会 委員長	山本 俊之
委 員	富永 薫 宮田 幸江 柳生 順子 山田 一二

2025年度法人・特別会員紹介（敬称略・順不同）

中川ヒューム管工業株式会社	神栖埠頭有限公司
仁岸 忠幸	株式会社 光和印刷
和知商事株式会社	東神電池工業株式会社
日東電気株式会社	国際警備保障株式会社
大御寺内 椿	茨城県信用組合
茨城県信用農業協同組合連合会	(株)横須賀満夫建築設計事務所
第一熱学建設株式会社	(株)入江電機工業所
茨城グローブシップ株式会社	(株)イチハラ商会
富山コンクリート工業(株)	株式会社 サザコーヒーロースター
日産部品茨城販売株式会社	美容室マドンナ(有)
吉成 安史	(株)柴建築設計事務所
茨城トヨタ自動車株式会社	日東メンテナンス株式会社
JA 茨城県中央会	ベニヤ商事株式会社
(株)吉田石油	昭和建設株式会社
東都計装株式会社	関彰商事株式会社
(株)常陽銀行	五浦日本美術院岡倉天心偉績顕彰会
学校法人 中川学園	水戸ヤクルト販売株式会社
株式会社 白英社	戸田産業株式会社
茨城キリスト教学園	医療法人薫光会 小松整形外科医院
車 孝則	JA 水戸
株式会社 フジタビジネスマシズ	(株)IHS 大洗ホテル・思い出浪漫館
(株)ヤマト建築設計事務所	(株)五浦観光ホテル
株式会社 ジュエリー小林	

注：掲載を了承された会員のみ掲載 2025年5月11日現在

〈友の会からのお知らせ〉

- 近代美術館館長 荒屋鋪透氏の講演会「藤田嗣治と西洋美術－イタリア、スペイン、フランスの芸術－」を2026年2月14日（土）13:30より講堂で実施します。
- 「藤田嗣治 絵画と写真」展のギャラリートークを、現在計画中です。（企画委員会）

あとがき

- 海外旅行先でアジア人をみかけると、中国と韓国の方であることが多いと聞く。日本人の存在が小さくなっている。
- 本号に掲載の作品写真の掲載許可及びデータの貸与に関して下記の方々にお世話になりました。お礼申し上げます。
- ・《金銅馬形飾付透彫冠》の掲載許可を、茨城県立歴史館 小野寺俊館長よりいただきました。藤田由紀子氏に取得手続きをしていただきました。

- ・海野勝珉《蘭陵王置物》の掲載許可を三の丸尚蔵館 島谷弘幸館長から、画像データの無償貸与及びご親切・迅速なメール対応を同館広報担当者様からいただきました。
- ・樋田礼子《井の頭(11)－樹下生生－》の掲載許可を公益財団法人 日本美術院 吉村泉里氏から、画像データの無償貸与を天心記念五浦美術館企画普及課 永宮勤士主任学芸員から、同課 今瀬佐和課長にお世話になり、いただく

ことができました。

茨城県近代美術館 友の会会報
游美 No.110

発 行 2025(令和7)年 11 月
編集・発行 茨城県近代美術館友の会
〒310-0851
水戸市千波町東久保 666-1
TEL.029-243-5111
E-mail : f.momaibk@gmail.com
H P : https://fmoma.com/

印 刷 株式会社 光和印刷